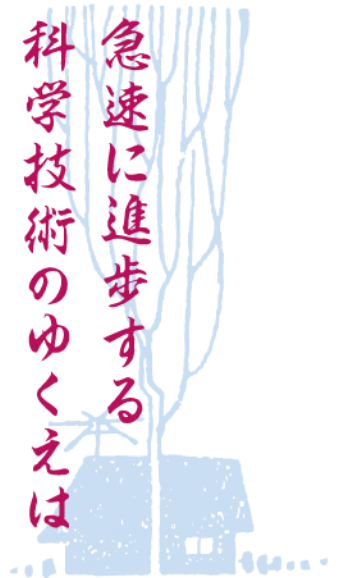


ふじさき歯科 デンタルニュース

2016年 No.24



急速に進歩する 科学技術のゆくえは



(0から1の時代)約5千年前に初期の文明が世界のあちこちに現れ、その後長い道のりを経て、18世紀頃からはいきなり

た人はほんのここ150年位の間の人々でしょう。

近代科学文明の時代となつていきます。19世紀になると科学の発達はますますその過程を早め、20世紀にはさらに加速され、1980年頃からは世界人口の爆発的増加、産業の発展、科学の進歩が見られ、このままいくと人類の科学発展進歩は本当に無限大となつてしまふのかとさえ思われる様相を呈してきました。(1から100の時代)

ここ10年間くらいの世界の文明、発見、技術の進歩は百年前のそれと比べて数百、数千倍の速さとなつてきていると思われまふ。これはすごいことであるに違いありませんが、世界中の多数の学者によると、このようなスピードで進化をするとある時「科学の技術的特異点」という局面を迎えるという説があります。科学の力が人間の能力を遥かに超える時、それにより甚大な変化がもたらされ、人間の生活が後戻りできないほどに変容してしまふ、という説です。

最近、物やシステム、世の中の小みなど多くの物事が変化し、新しくなつていく過程の速度がばかに速いなど感じるものがよくあります。中にはそのスピードに追いつけないこともあります。歳のせいでしょうか？

50年ほど前の、若いころの世間話です。「人類の科学の発展スピードは二定ではなく、始めは極めてゆっくり、ある時から急にスピードを速め、それはあたかも指数関数のグラフのように途中から垂直に上昇していくようなグラフになる。その為、このまま人類の科学技術が進むとその進歩は間もなく無限大となるのでは？」というようなことがありました。

それはどんな局面を指すかは漠然とした想像の世界ですが、一つは核戦争。今現在全世界には広島原爆の約150万発分以上の核弾頭が配備されているそうです。その数パーセントの威力で全世界の人々を殺戮し地球を壊滅状態にすることが出来るほどの核兵器の量です。「第三次世界大戦はないであろう。なぜならどちらかが核のボタンを押した途端、全世界は破滅する」と言われているのです。

250万年ぐらい前、地球上に人類らしきものが現れ旧石器時代が始まり、その後1万年前にやつと新石器、銅製品の時代が始まり、人口の増加が見られました。

医学では、これはほとんど19世紀以降のことですが、麻酔法・消毒法・種痘の発見、二十世紀に入るとビタミン・ペニシリン・ワクチンの発見、遺伝子治療の応用、二十一世紀ではさらに医学は進歩し、CTレントゲン・MRI・超音波などの診断機器の発展により身体の内部はすべて透けて見えるようになったと言つても過言ではないくらい進歩しました。

最近言われ始めているもう一つの科学文明破局のシナリオ、それは

人類250万年の歴史の中でこのような医療の進歩の恩恵に浴し

人類250万年の歴史の中でこ

最近言われ始めているもう一つ